

第2号報告 島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプラン

重点取組とKPI（重要業績評価指標）の令和6年度進捗状況

2025(令和7)年2月末時点

1 重点取組

項目	内容	スケジュール	2024(令和6)年度進捗状況
保全・保護するサイトの保全管理計画の策定	すべての地質・地形サイトに共通する保全の理念に基づいて評価基準を決定し、その評価基準に基づいて達成状況を可視化できるように、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークサイト保全管理計画」を策定します。	2022(令和4)～2023(令和5)	・2023(令和5)年度に策定済。
地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知	ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや観光公害の課題、レスポンシブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。	2022(令和4)～2025(令和7)	当地域の貴重な動植物や有形・無形文化財等をサイトとしてまとめ、ジオパークホームページに掲載した。
ジオパーク教育プログラム作成(副読本制作、小中高生への教育)	現地学習用テキストの作成やジオパークエリア内にある教育施設の活用について検討し、地質をベースとした地域の歴史・文化の発展を考え、自然環境保護や活用方法について学ぶことのできる教育プログラムを作成して、子ども達が実際の体験から大地の成り立ちと自分たちの暮らしのつながりを感じ、学ぶ機会を創出します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・これまで千酌(松江市美保関町)、須々海(松江市島根町)、小伊津(出雲市小伊津町)、斐伊川、意宇川の学習補助資料を作成し、松江市・出雲市の小学校で引き続き活用してもらっている。
地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラム実施	全国のジオパークや地域の公民館、コミュニティセンター、その他地域団体が実施している自然災害対策に関する優良事例を調査し、教育プログラムを作成します。 作成した教育プログラムに基づいて、行政や島根大学等の関係機関と連携しながら、地域住民向けの講座やフィールドワークを実施します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度に「土砂災害」「火山災害」「地震災害」「洪水災害」ごとにPPTを解説した動画コンテンツを作成し、今年度、ジオガイドに視聴してもらった。
ジオパークエリアに入ったことが分かる看板設置	2021(令和3)年度に実施した看板設置候補地調査の報告等を活用し、来訪者が、当地域に訪れたことが容易にわかるような看板を多くの目に触れる場所に設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・看板2枚リニューアル 「松江市東本町設置看板」 「出雲市平田町設置看板」
ジオパークエリア解説看板、ジオサイト等解説看板設置	来訪者が当地域の見どころを容易に巡り楽しめるよう、ジオサイト等の見どころの場所を案内するとともに、ホームページと連携させるなど工夫を凝らしたわかりやすい解説看板をジオサイトの重要性に応じた優先順位を設けて順次整備します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・看板2枚新設 「立久恵峡説明看板」 「手結のスランプ褶曲説明看板」 ・看板1枚リニューアル 「マリンプラザしまね横設置看板」

項目	内容	スケジュール	2024(令和6)年度進捗状況
ビジターセンターやジオサイト等への誘導標識設置	来訪者が、松江ビジターセンター、日御碕ビジターセンター、ジオサイトへ容易にたどり着けるよう、見つけやすい誘導標式を設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・看板3枚新設 「日御碕ビジターセンター誘導看板」 「松江ビジターセンター誘導看板」 「小伊津、唯浦への誘導看板」
サイトの整理(ジオサイト、生態サイト、文化サイト、文化サイト)、サイトカードのデータベース化	これまで設定していたジオサイトの中には、危険な場所、訪れることが難しい場所、文化的なサイトなどが含まれていることから、生態サイト、文化サイトを新たに設け、ジオサイトの整理・更新を行います。また、ジオサイト等をまとめたサイトカードの整理や調査事項の追記、データベース化を行います。	2022(令和4)～2023(令和5)	・2023(令和5)年度に生物・生態、2024(令和6)年度に歴史・文化に関するサイトカード(説明書)を作成した。
パートナーシップ協定の締結	関係機関、団体、企業とのパートナーシップ協定の締結を行い、それぞれの役割の明文化を図ることで、ジオパーク活動を一層推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2024(令和6)年度に6件締結(累計17件締結)
ブランディング戦略の策定	「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」「国引きジオブランド」等、当地域において複数のブランドが使われているため、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略」を策定し、地域で行われている事業や活動をジオパークブランドとしてまとめ、企業・団体等の出版物や発刊物にジオパークロゴマークを使用してもらうなど、ブランドイメージの統一を徹底することで、ブランド力を向上させます。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度に策定済。
旅行事業者等によるジオパークの魅力を感じるコース(ジオツアー)の商品販売	日本ジオパーク全国大会向けに作成したジオツアーのモデルコースの商品化を目指すとともに、地質遺産、自然遺産、文化遺産の持続可能な利用のための来訪者と地域住民の要望の調整や、観光をはじめとするガイド依頼の統一窓口を設置するなど、旅行事業者や観光協会との連携によるジオツアー商品販売等に取り組み、持続可能で質の高いジオツーリズムを推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・「観光客向けジオツアー(2本)」、「美保関トレッキング」、「立久恵峡イベント」を販売した。
安全対策、防災対策マニュアルの作成	地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策や地震、津波、原発事故、台風、洪水の際のツアー開催基準、対策について記述する「安全対策、防災対策共通マニュアル」を作成します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・出雲国ジオガイドの会がマニュアルを作成しているところである。

2 KPI(重要業績評価指標)

	名称(*は重点取組)	単位		2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)
1. まもる	モニタリング実施ジオサイト件数/ 年度	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	6	10	15	—
2. しる	データ公開件数/累計	件	目標値	3	6	9	12
			実績見込	3	11	12	—
3. はぐくむ	認定ジオガイド養成数/累計	人	目標値	55	65	75	80
			実績見込	55	56	62	—
	*ジオパーク教育プログラム実施件 数/年度	件	目標値	30	35	40	45
			実績見込	38	47	43	—
	*地域住民向け出前講座、ジオツ アー開催回数/年度	回	目標値	3	5	7	9
			実績見込	16	14	19	—
4. つたえる	松江ビジターセンター来場者数/ 年度	人	目標値	4,600	4,700	5,300	6,100
			実績見込	4,525	5,312	6,100	—
	日御碕ビジターセンター来場者数 /年度	人	目標値	25,000	30,000	36,000	40,000
			実績見込	18,230	21,727	22,000	—
	ホームページ閲覧者数/年度	人	目標値	5,000	5,500	6,000	6,600
			実績見込	19,515	13,683	14,356	—
	*看板(総合看板、サイト看板、誘 導看板含む)数/累計	基	目標値	30	35	40	45
			実績見込	34	37	42	—
5. つくる	*旅行者等主催のジオツアー開 催回数/年度	回	目標値	2	3	4	5
			実績見込	3	3	4	—
6. ささえる	学術研究奨励事業補助金交付決定 数/年度	件	目標値	5	6	7	8
			実績見込	2	4	7	—
	地域活動補助金(普及啓発事業等 補助金・推進環境整備事業補助金) 交付決定数/年度	件	目標値	12	13	14	15
			実績見込	12	11	9	—
	ジオパーク授業におけるバス借り上 げ料補助金交付決定数/年度	件	目標値	27	28	29	30
			実績見込	20	27	25	—
7. むすぶ	*パートナーシップ協定の締結件 数合計/累計	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	3	11	17	—
	ジオサポ個人会員数/年度	人	目標値	450	455	460	465
			実績見込	399	435	342	—
	JGN関係会議、研修会等への参加 人数/年度	人	目標値	5	7	9	11
			実績見込	28	14	13	—

KPI全項目16	うちKPI達成項目 11(68.8%)
	KPI未達成項目 5(31.2%)